

# リリースノート - Ki Pro Ultra 12G v2.1

## Firmware for Ki Pro Ultra 12G

### 全般

---

ファームウェア v2.1 では、Ki Pro Ultra 12G においていくつかの機能改善が追加されています。

機能および設定のガイドラインについては、インストレーション & オペレーションガイド (ユーザーマニュアル) を参照してください。最新版のドキュメントは、[www.aja.com](http://www.aja.com) のサポートページでご確認いただけます。

### v2.1 での修正、変更および改善点

---

- ・ タイムコードスーパーアウトの表示について、文字サイズおよび表示位置について選択可能に
- ・ DNxHD で収録されたクリップでは正しい色域のメタ情報が載っていない不具合を修正
- ・ 性能を保証するため、PAK メディアに保存されているクリップ数に関係なく、プレイリストの表示数が最大 850 クリップに制限されました。825 クリップをこえて収録する際には、ユーザーインターフェイス上で警告が表示されるようになりました。
- ・ エンコードタイプ DNx 選択時の “Loss of Video” に関する不具合の修正
- ・ SDI level A/B 設定が Preset では保存されない不具合を修正
- ・ ある特定の状況では、入力信号のフレーム同期機能によりマルチチャンネル入力のオーディオマッピングが稀に崩れる不具合を修正
- ・ CONFIG メニュー内の “In Convert”(1.4) および “Out Convert”(1.5) 設定の選択肢 “4K Crop to QuadHD” について、よりわかりやすく変換内容を示すように “4K Crop to UHD” に表記を変更
- ・ HDMI 入力信号を収録する際のパフォーマンスを改善
- ・ 稀にクリップの再生時にクローズドキャプション (字幕) が破損する不具合を修正
- ・ “Infinite recordings (永久収録)” 適用時に、時々 1-2日 で収録が止まってしまうことがある不具合を修正

- ・ 2K PsF フォーマットのファイルで稀にフロントパネルの表示が崩れる不具合を修正
- ・ 特定の “In Convert” 設定では 2SI マッピングでの収録が失敗する不具合を修正
- ・ HDMI クロック・ストレッチング機能を改善
- ・ いくつかの軽微な UI 上の不具合を修正
- ・ REST API において、システム再起動 (reboot) コマンドに対応
- ・ REST API において、いくつかのパラメーターをより明確な表記に変更

## ファームウェア更新時の注意点

---

- ・ ファームウェアアップデート時に Windows 環境の場合は Chrome ブラウザを使用しないようお勧めします。この問題は、ファームウェア v1.1 で修正されております。
- ・ ファームウェアアップデートを行う前に、本体 “Config” ボタンもしくは Web UI の “Preset” メニューから “Factory Reset” で工場出荷状態にリセットすることをお勧めします。
- ・ ファームウェアのアップデートを行った後は、Web ブラウザ (Safari、Firefox など) と Ki Pro Ultra 12G との接続が解除される場合があります。Web ブラウザをリロードすることで、Web UI に再接続できるようになります。
- ・ 収録中には、ファームウェアアップデートを試みないでください。ファームウェアのアップデートを行う前に、必ず Ki Pro Ultra 12G が停止状態であることを確認してください。